



〒663-8558 西宮市池開町6-46  
武庫川女子大学言語文化研究所  
TEL 0798(45)3536  
FAX 0798(45)3574  
<http://www.mukogawa-u.ac.jp/~ILC>

## 消える？ 残る？ 関西のことば

「LCりぽーと」21号（「関西伝説 ことばの七不思議」2006年1月発行）では、2005年に開催した言語文化セミナーの様子と、アンケート調査の結果とを報告しました。「蚊にかまれる」や「まんまんちゃんあん」など、関西地方で使われていることばをいくつか列挙し、そのことばを使うかどうか、使うとすればどのような時に、どのような意味で使うかといった内容でした。アンケート調査の対象者はセミナー参加者で、ほとんどが学外の方でした。

その時の講師であった河合真美江氏（朝日新聞大阪本社記者）からは、セミナーに先立って、関西のことばに関する本学学生へのアンケート調査を依頼されていました。今回は、その学生へのアンケート調査の結果と、21号で報告した結果とを比較して、変化しつつある関西のことばがあるかどうかについてレポートします。以下に、結果の一部を報告します。

### ●アンケート調査の結果●

本学の学生とセミナーの参加者に対して、関西地方で使われていることばをいくつか列挙し、そのことばを使うかどうか、またどのような時に、どのような意味で使うかというアンケート調査を行った。

本学学生の年齢は20歳前後、それに対して、セミナーの参加者は50代以上が大半であった。年代の差によって回答に違いがあるのかどうかという視点を中心に、いくつかの項目を取り上げてみる。回答者の年代と出身地（ことばの影響を受けたおこな地域）は、表1の通り。

表1 調査対象者

	年代	出身地（ことばの影響を受けた地域）
本学学生51人	20歳前後	関西圏 49人（大阪,兵庫,奈良,滋賀,福井） 関西以外2人（鳥取,高知）
セミナー参加者 26人	70代（4人）、60代（8人） 50代（8人）、40代（2人） 30代（1人）、20代（1人）	関西圏 17人（大阪,兵庫,奈良,徳島） 関西以外9人（東京,埼玉,千葉,新潟, 鳥取,熊本,長崎）

## (1) 消える？「ペケ」

○×をどのように言うか。

参加者：マルペケ…13人

マルバツ…6人

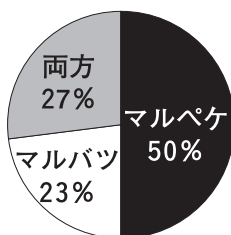
両方…7人

学生：マルペケ…1人

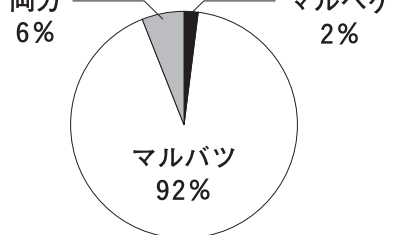
マルバツ…47人

両方…3人

〈セミナー参加者〉



〈本学学生〉



記号の「×」を「バツ」と言うか、「ペケ」と言うかという質問。関西地方では、「×」を「ペケ」と言う場合が多い。セミナー参加者の関西圏出身者は、すべて「マルペケ」と回答しており、「マルバツ」と回答した人は、埼玉、栃木、鳥取、山口、長崎と関西以外の出身となっている。一方、本学学生は、9割以上が「マルバツ」と回答しており、「両方」の言い方をすると回答した人を合わせると、98%となる。「マルペケ」と回答したのはわずか2%（一人だけ）という結果である。中・老年層である関西圏出身のセミナー参加者は、「ペケ」を使っているが、本学学生、つまり若い世代は、関西圏出身者であっても「バツ」を使う。関西圏における、「ペケ」から「バツ」への変化が見てとれる。

## (2) 消える？「ぼんさんがへをこいた」

遊びの際、「ぼんさんがへをこいた」、「だるまさんがころんだ」どちらの言い方をするか。

参加者：ぼんさんがへをこいた…13人

だるまさんがころんだ…14人

両方…1人

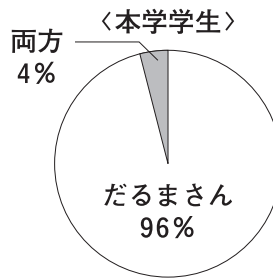
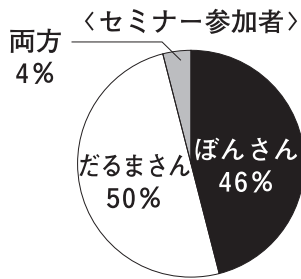
学生：ぼんさんがへをこいた…0人

だるまさんがころんだ…49人

両方…2人

これは、鬼がこのことばを言っている間に、他の子どもたちが動き、鬼が振り向くと止まるという遊びである。セミナー参加者の回答からは、どちらの言い方も同じように使われていることが分かる。しかし、本学学生は、ほぼ「だるまさんがころんだ」を選択している。

「ぼんさんがへをこいた」は、たしかに品がよいとは言えない表現であるが、だからこそ、子どもの遊びはおもしろいのである。しかし、結果からは、関西圏でも「ぼんさん」から「だるまさん」へと変化していることが見てとれる。



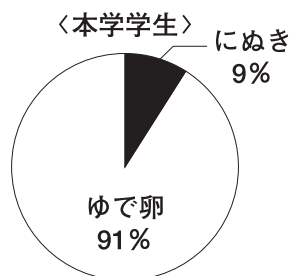
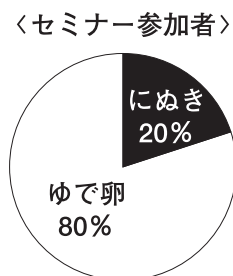
この10拍のことばを使った遊びにどのようなものがあるか、という質問には、セミナー参加者の回答が3通りあった。もっとも一般的な遊び方が、①鬼がこのことばを言っている間に他の子どもたちが動き、鬼が振り向くと止まる。動いたらその子どもが鬼になるというもの。あとは②かくれんぼのときに10数えるかわりに言うもの③何か物を選ぶとき言うものという回答であった。本学学生は、①の遊び方のみの回答であった。

### (3) 消える? 「にぬき」

ゆで卵をどのように言うか。

参加者	：	にぬき…4人	ゆで卵…16人
学生	：	にぬき…4人	ゆで卵…42人

関西圏でも、「にぬき」が「ゆで卵」のことだと知っている人は少なくなりつつあるのではないだろうか。にぬきは、煮抜きと表記し、十分に煮るという意味からきている。アンケートでは、にぬきと回答した人は、セミナー参加者が4人、本学学生が4人であった。現代は、関西圏であっても、ゆで卵の方が優勢になっており、このまま行くと、今後は、さらに「にぬき」から「ゆで卵」へと変化していくものと推測できる。



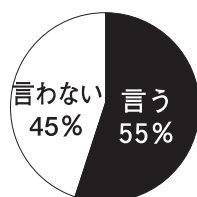
#### (4) 残る？「あめちゃん」「おまめさん」

「あめちゃん」「おあげさん」「おまめさん」「コープさん」などと言うか。

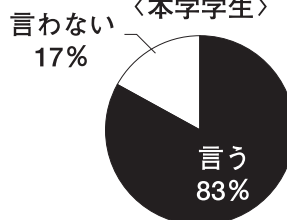
参加者： 言う…12人 言わない…10人

学生： 言う…39人 言わない…8人

〈セミナー参加者〉



〈本学学生〉



「あめ」や「あげ」や「まめ」といった無生物に対して、「ちゃん」や「さん」をつけて言うかどうかという質問。セミナー参加者も、本学学生も「言う」とした人の方が多い結果となった。セミナー参加者では、「言わない」人の出身地は、東京、埼玉、栃木、新潟、長崎、兵庫、奈良で、出身地による違いは、それほどはっきりとしていないが、大阪府の出身者は、7人全員が「言う」と回答した。本学学生でも「言う」と回答した人は、すべて関西圏の出身者であった。鳥取と高知の出身者は、「言わない」と回答しており、やはり、関西圏独特の表現であることがうかがえる。「あめちゃん」や「おまめさん」という言い方は、今後もしばらくは消えないと言える。

#### (5) 残る？「蚊にかまれる」

「蚊に～れる」の「～」には、どのようなことばが入るか。（複数回答あり）

参加者： かまれる…16人 さされる…15人 くわれる…4人

学生： かまれる…31人 さされる…35人 くわれる…6人

セミナー参加者も本学学生も、「かまれる」または、「さされる」という回答が多かった。「くわれる」は、どちらも少数派となった。「かまれる」「さされる」いずれも使うという複数回答が比較的多く、ゆれている表現と言えるだろう。

他にもいろいろと関西独特の表現がありますよね。それらのことばは、果たして、残るのか？それとも、消えていく運命にあるのか？ アンケートにご協力くださった皆さん、ありがとうございました。

担当 佐竹 秀雄・岸本 千秋  
作業協力者 石原 知世・島崎 泰子 2007.Feb.